

研究テーマ ● 離島へき地における環境構造問題の解決：老朽施設の再生を中心に

工学部・建築学科・グローバル人材育成支援室 助教 ボウ コーザー

研究の背景および目的

日本政府は昭和中期から平成後期にかけて、離島やへき地に郵便局、公民館、診療所など重要なコミュニティ施設を作りました。現在、これらの施設は老朽化が進んでいる一方、修繕は人口減少などの原因で後回しにされ、本来果たすべき役割が低下しています。そこで、本研究は「建築環境知識共有システム」を構築し、地域住民、地方自治体、建築業界などを含むコミュニティの関係者を総動員することによって施設の再生を図り、環境構造レジリエンスの機能回復又は強化に寄与する。

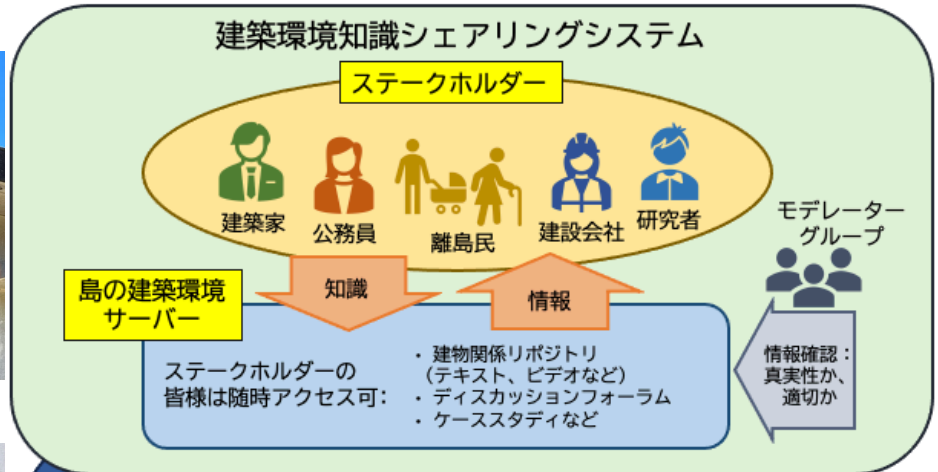
おもな研究内容



竹島公団住宅：割れた屋根



硫黄島体育館：割れた窓かまち



離島の建築環境レジリエンス

ステークホルダー同士がコミュニケーションを取りやすくと、以下の利点がある。

- ・ ニーズに基づく修築
- ・ 建物のアダプティブリユース
- ・ 建築イノベーション



期待される効果・応用分野

近年、人間と建物と自然との関係、いわゆる本研究の対象である「環境構造」問題の重要性が高まりつつある。このような中、「建築環境知識共有システム」の開発が極めて意義が大きいと考えられます。まだ初期段階にありますが、このシステムの開発に成功すれば、ユーザーの地域住民や地方自治体、建築・計画の専門家などに材料の使い方、建設方法、プロジェクト計画、エネルギー効率や気候耐性を高める方法など、老朽化した施設の再生に関する効果的な情報を共有できると期待されます。

共同研究・特許などアピールポイント

- このプロジェクトは、日本だけでなく、海外の離島へき地での活性化や持続可能なプロジェクトにも焦点を当て、世界中の経験を活用しています。
- 建設業界や行政機関、ホームセンターなどの協力があるとありがたいです。

コーディネーターから一言

建築環境知識共有システムを構築するために、リノベーションやリホーム等の情報を求めています。また地方創生や空き家対策に関心のある自治体や企業様からのご連絡をお持ちしております。

研究分野	建築・都市計画
キーワード	環境構造、建築教育、離島、へき地、民族建築知識